

【市長との地域懇談会 記録】

開催日時 令和元年6月28日(金)
19:00~20:00

まちづくり協議会区域名 豊浜東まちづくり協議会

会場 豊浜東まちづくり協議会会議室
(旧豊浜東幼稚園内)

参加者数 25人



《質問・意見》

災害時に避難所として開設されるのは中学校であるが、高齢者が避難するには遠すぎる。小学校を避難所として開設してほしい。また、この前の台風の時に停電となったが、この地区は電気の配線系統が二つの区域に分かれていて、一つの区域が大丈夫でも、もう一つが停電だったりする。配線を切り替えて停電を防ぐ方法は出来ないか。

《回答》【市長】

避難所対策は急務であると考えている。出来るだけ近くで安全に避難できるようにしていきたいが、災害対応時に小学校を避難所にする配置職員が不足している。特に東南海地震レベルだと職員の被災も想定されるので、さらに難しくなる。自治会にお手伝いしていただく仕組みが出来ないかなど議論しているので、その場合はご協力のほどお願いします。

停電については、中部電力さん所管のことであるが、自家発電についても議論していきたい。

《質問・意見》

小学校を避難所としてもらいたいのと、そこまでの避難路を整備してほしい。南海トラフの地震に備え堤防を頑丈にしてほしい。

平成25年ごろに空き家の調査をしたものの、その後利用されていないが、空家対策はどうなっているのか。

《回答》【市長】

堤防については、国、県の管理でもあるので、要望など地域の声を訴え続けることが重要である。一緒にがんばっていきたい。

空き家対策については、空家バンク制度で対応している。東豊浜でも登録いただき成約の実績もある。

避難路確保の話があったが、市ではブロック塀除去の補助制度があるので、ぜひ活用してほしい。

《質問・意見》

朽ちた空き家を壊すと固定資産税が上がるので、そのままになっている。税金を安く出来れば撤去も進むのではないか。

《回答》【市長】

地方税法で定められており、現状としては難しい。中々、理想どおりに進まないところもあるが、しっかり議論していきたい。

《質問・意見》

宮川の堤防の草刈を法面全部の範囲で年2回してもらっているが、路肩の草が茂ってきて堤防道路の通行が危険である。法面全部はその程度でいいが、路肩だけでももっと頻繁に草刈してほしい。

《回答》【市長】

県へ要望していきたい。

《質問・意見》

県道豊北港小俣線の坂下のガードレール付近に、ひびが入って傾いているので何とかしてほしい。また、その箇所の道幅が狭く交互通行し難いので拡幅してほしい。

《回答》【市長】

県所管で、すぐの対応は難しいが、市から要望するにあたり地元からの要望が必要である。市も要望し続けるので、地元からもあきらめずに要望していただきたい。

《質問・意見》

市で養成講座をしていただいているが、登録された人の活用場所がないと聞いた。養成講座を受けた人の後のフォローをお願いしたい。

《回答》【市長】

福祉の関係で生活支援や障害者サポート制度など色々やっているが、ステップアップがまだまだである。ご意見いただきながら進めていきたい。

《質問・意見》

土路今一色線はこの地域の貴重なバス路線である。今後、高齢者の免許返上も考えるとさらに重要性は高まるので存続してほしい。

小中学校の適正化で豊浜東小学校が空いてくる。避難所としての活用のほかに西条公民館やまち協も入れることも考えてほしい。

《回答》【市長】

この地域の小学校は、4校統合で進めていたが、建築費の高騰などからタイムスケジュールを延ばす必要がでてきた。今後、事業費を見定めて考えていきたい。バス路線も残せ

るよう一緒に考えたい。

《質問・意見》

統合によって豊浜中学校が閉校になったが、今の校舎はどうなっているのか。

《回答》【市長】

校舎は、そのままの状態であるが、今後、①避難所、②行政目的、③地域の活用の順で検討していく。具体的には決まっていない。例えば、旧沼木中の校舎では荷物を入れたり、民間のドローンの訓練などに使われている。

《質問・意見》

桜浜中学校への通学路（市道役場高羽江線）の路肩に白線を引いたので車道幅が狭くなって車両の交互通行が危険である。今後、対策はあるのか。

《回答》

開校にあたって、通学路の要望ももらっており、整理しているところである。場所を確認し、後日、担当部署から連絡する。

《質問・意見》

市道役場高羽江線を県道豊北港小俣線まで延長して、県道から小川地区へ抜ける道を考えてほしい。道が出来れば、統合したときスクールバスが通れるようになる。

《質問・意見》

里の浦ポンプ場から西条へ抜ける道沿いの水路に蓋をして、道路を拡幅すれば避難路になる。